

学校教育目標	「共にチャレンジ みんなかがやけ」				
	【知】学んだことを生かして主体的に考え、学び続ける子どもを育てます。 【徳】互いのよさを認め合い、協働し合う子どもを育てます。 【体】命と体を大切に、心身ともに健やかな体をつくる子どもを育てます。 【公】進んで人のために役立つようとし、地域に愛着をもつ子どもを育てます。 【開】広い視野をもち、チャレンジし続ける子どもを育てます。				
学校概要	創立 53 周年	学校長 江目 親利	副校長 武藤 裕子	2 学期制	一般学級：12 個別支援学級：2
	児童生徒数： 315 人	主な関係校： 芹が谷中学校 芹が谷南小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>&lt;コミュニケーション能力&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目的や意図に応じて伝える力</li> <li>○多様な考えのよさを生かす力</li> <li>○伝え合うことで自分の考えを深める力</li> </ul>	<p>芹が谷中学校 芹が谷小学校 芹が谷南小学校</p>	<p>発達段階に応じたコミュニケーション能力の伸長 「自分の思いを大切に、相手のことを考えて伝える子」</p> <p>・ブロック合同授業研修及び研究協議会を行い、「学方観・指導観・評価観」を共有し、授業改善を通し子どもたちの学力向上を図る。・児童生徒交流の機会として、授業見学や部活動体験、ふれあいコンサートを実施し、小学校から中学校への接続を円滑に進める。・3校の児童生徒代表が学校づくりについて話し合うとともに、地域のネットワークの中で意見交換することで、挨拶運動等の取組を地域とともに広める。</p>

中期取組目標	<p>○学校の主体性を発揮し、児童・保護者・地域とつながり、信頼される開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>・一人ひとりが、様々なことに積極的にチャレンジすることで輝き、あいさつと笑顔が広がる学校にします。・自らが生活を見つめ、自分を大切にする心を育むとともに、相手の立場や気持ちを考えて、主体的に生活を創る子どもの育成を目指します。・学ぶことの意義や楽しさを感じながら学習習慣を身に付け、基礎基本を徹底し、知を働かせて生きる子どもの育成を目指します。・自分たちのまちに愛着をもち、コミュニケーションを図って視野を広げ、つながりを大切にする子どもの育成を目指します。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 (学習指導)	①めあてを板書し、めあてに沿った授業展開をする。何を学ぶのか明確にすることで児童にとって「分かる」授業にする。②学習指導要領を意識した教材研究を行い、身に付けさせることを明確にして授業をつくる。③授業研究や研修を通し、教師の授業力を高める。④授業づくり講座に参加し、授業力を高める。
担当 学年主任会	
豊かな心	①たてわり活動を充実させるとともに、行事にもたてわり活動を取り入れ、異学年同士のつながりを日常的に築く。②学級目標に「豊かな心」に関する目標を取り入れ、日常的な学級活動の中で、「豊かな心」を育むことを意識して生活できるようにする。③気持ちのよい挨拶を習慣化し、挨拶を通してコミュニケーション能力を高める。
担当 佐々木・宮原	
健やかな体	①児童会活動を充実させ、児童自ら考え、主体的に運動することができる場を増やす。②保健学習・体育・学校保健委員会の活動内容を系統立て、年間を通して健やかな体づくりができる計画を遂行する。③港南区スポーツ推進委員と連携して、毎月2回、中休みに体育館で、健康体づくりのさわやかスポーツの実践をする。
担当 体育部	
児童指導	①「あいさつ・言葉づか・温かい心」を合言葉に学校生活を送るよう全職員で指導・見守りをしていく。②YP実践推進校の研究を通して、児童指導の在り方を学び、職員全体で同じ指導、対応ができるよう体制を整える。③横浜プログラムの授業づくり講座に参加し、児童指導の力を一人一人が身に付ける。
担当 児童指導部会	
特別支援	①ユニバーサルデザイン授業の研修を深める。ユニバーサルデザインの授業づくり講座に参加し、特別支援教育に対する力を身に付ける。②学級経営の中で配慮を要する児童の合理的配慮ができるように、かかわり方等を複数の職員で共有する。また特別支援教育に関する授業づくり講座に参加する。
担当 特別支援コーディネーター	
幼保小	①幼保小推進地区として交流を深めてきた保育園と交流を継続的に行い、園児と児童の関係を深める。②幼保小の情報交換を密にして円滑な接続ができるよう、年に数回幼保小の会議を行う。③各学年とも園児と関わるための活動を入れる。保育園の散歩コースに本校を入れることで、中休みに自然な交流ができるようにする。
担当 幼保小担当、1・5年	
地域連携・学校運営協議会	①地域の活動、地域防災拠点訓練等に対して学校が協力できることを考え、児童と職員が積極的に参加する。②各地域の代表者の方と学校運営協議会の意義と役割について共有し、協議会の運営をする。③学校地域共同本部としての活動が充実するように、コーディネーターと連携し、社会に開かれた学校づくりをすすめる。
担当 教務部	
自分づくり教育	①「横浜の時間」を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を設け、他者との関わりの中で一人一人の自己有用感を高める。②学年に応じて、地域住民や企業等と関わる学習を位置付け、学ぶことや働くことの意義を考えられる場を設定する。③学級の当番活動で責任を、係活動や委員会活動で創意工夫する力を身に付ける。
担当 キャリア教育担当	
いじめへの対応	①月1回定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。②年3回の児童アンケートにより些細な変化も見逃さない体制づくりをする。③いじめを発見したときに、すぐに対応チームを作り、役割分担・対応方針・方法を確認し体制を整える。
担当 児童支援専任	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①教職員の専門性向上とともに、重点研究を中心とした授業改善により、授業力向上を図る。②10年経験者がメンター研修をアドバイザーし、メンター長を支援し、組織力・授業力・学級経営力・人間力を高めるための研修を実施する。メンティの困り感に寄り添える実効性のある研修にする。管理職も積極的に関わっていく。
担当 教務部・メンターチーム	